

参加申込者数 : 473名（会場128名、録画配信345名）
アンケート回答数 : 56名
回答者（所属） : 製薬企業・CRO（36名）、医療機関等（18名）、その他（2名）
連携会議の評価 : 『良かった』91%『普通』9%
交流会の評価 : 『良かった』67%『普通』20%『あまり良くなかった』13%※

※ あまり良くなかった理由

会場（3件）、参加者の業種職種（2件）、参加者の人数（1件）、その他（2件）

大阪府の治験に関する取組み、各ステークホルダーについて期待することやご意見等

- ・ 国際共同治験・DCT は、内資系製薬企業にはコスト面での不安があり、企業の経済力が普及への課題
- ・ 治験エコシステムの推進は早急に着手する必要がある、まずは取り組みを実施し、その中で出てきた課題に対応しながら改善していくことが重要
- ・ 治験の手順・資料の共通化を推進して欲しい
- ・ シングル IRB を導入した場合の審査に係る費用を明確にして欲しい
- ・ 大阪府には治験エコシステムを推進し、治験エコのロールモデルとなって欲しい
- ・ 大阪府からの治験情報提供後、候補患者の紹介につながる仕組みの構築が必要
- ・ 府民への治験啓発活動を実施して欲しい
- ・ 大阪を治験特区とするなど、海外に負けない症例集積力の高いネットワークを形成して欲しい
- ・ 医療機関同士や、治験依頼者とのつながりを作る機会を増やして欲しい

大阪府の治験に関する連携会議・交流会の参加申込者

【申込者数】

参加方法	人数
① 会場参加	128
② 録画配信	345
合 計	473

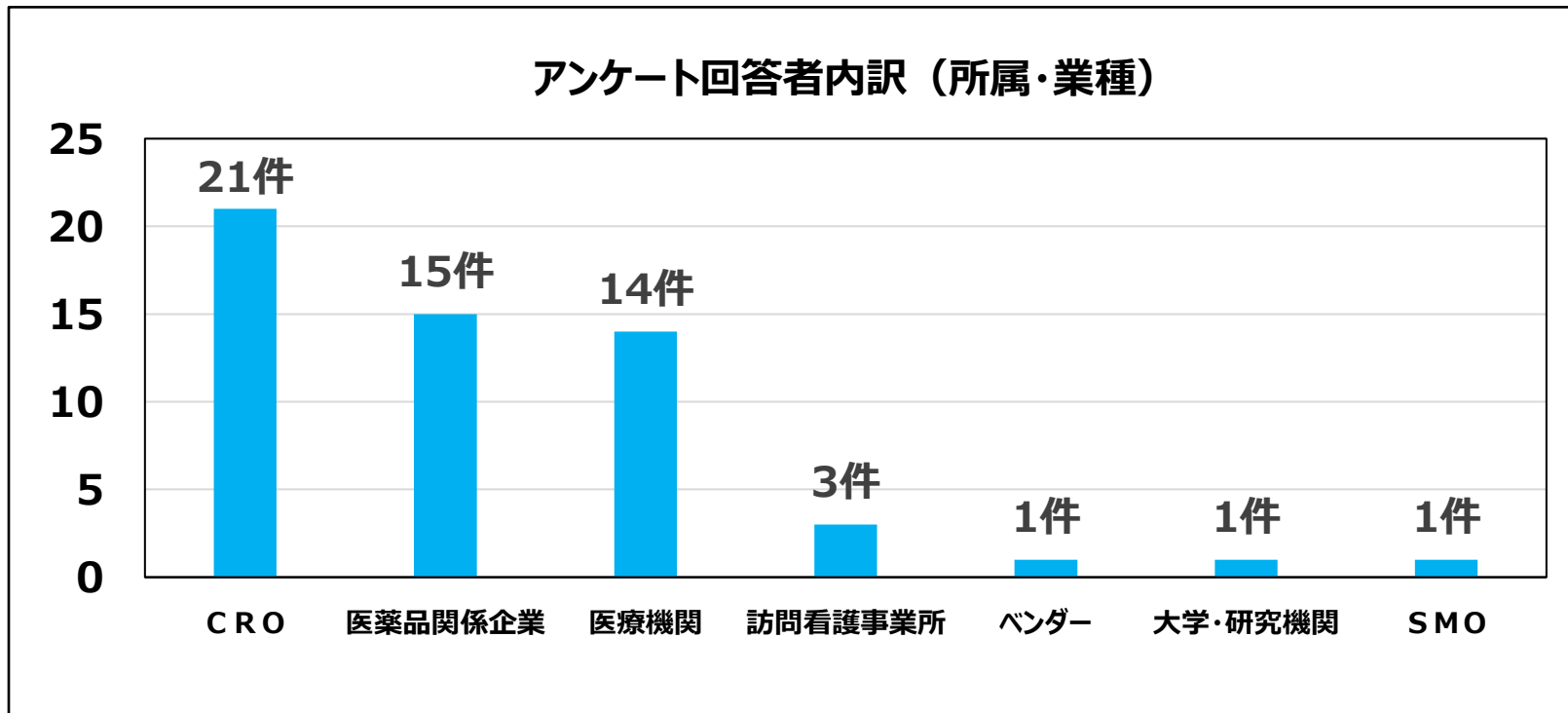
【申込者内訳（所属・業種）】

① 会場参加（128名）	人数	
CRO	50	89名
製薬企業	39	
病院	19	30名
SMO	5	
薬局	3	
訪問看護ST	2	
診療所・歯科診療所	1	
その他	9	

② 録画配信（345名）	人数	
製薬企業	142	264名
CRO	122	
病院	53	64名
SMO	6	
診療所・歯科診療所	3	
訪問看護ST	2	
その他	17	

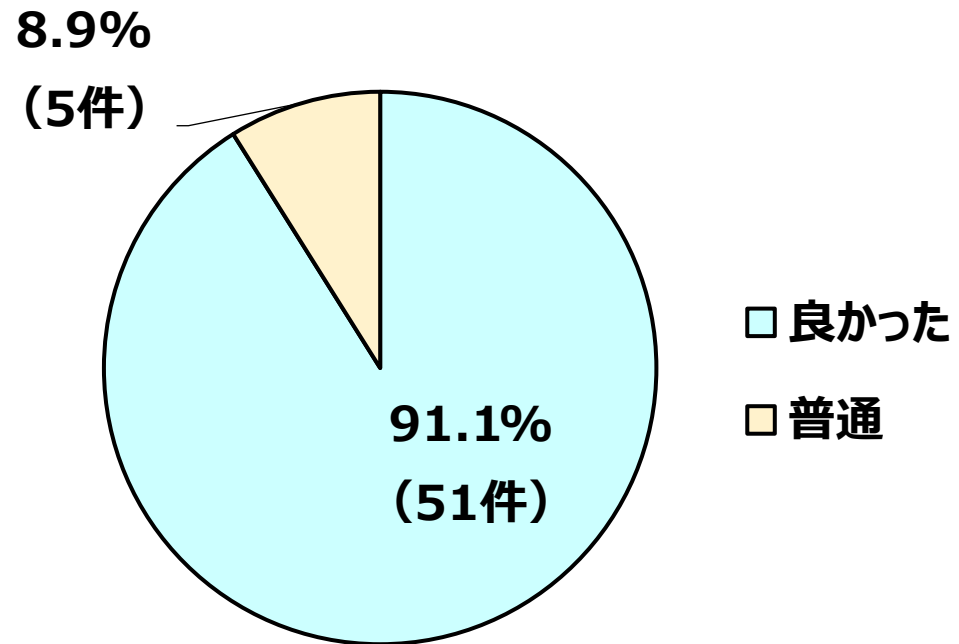
大阪府の治験に関する連携会議・交流会のアンケート結果

アンケート回答数 : 56名

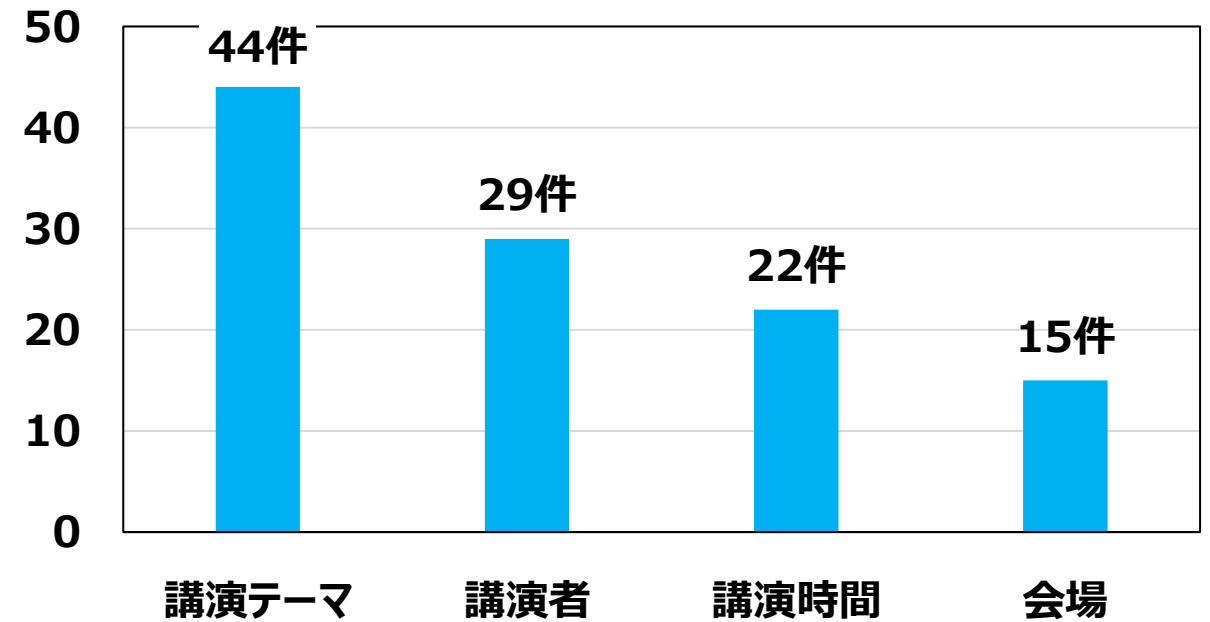


連 携 会 議

連携会議の感想

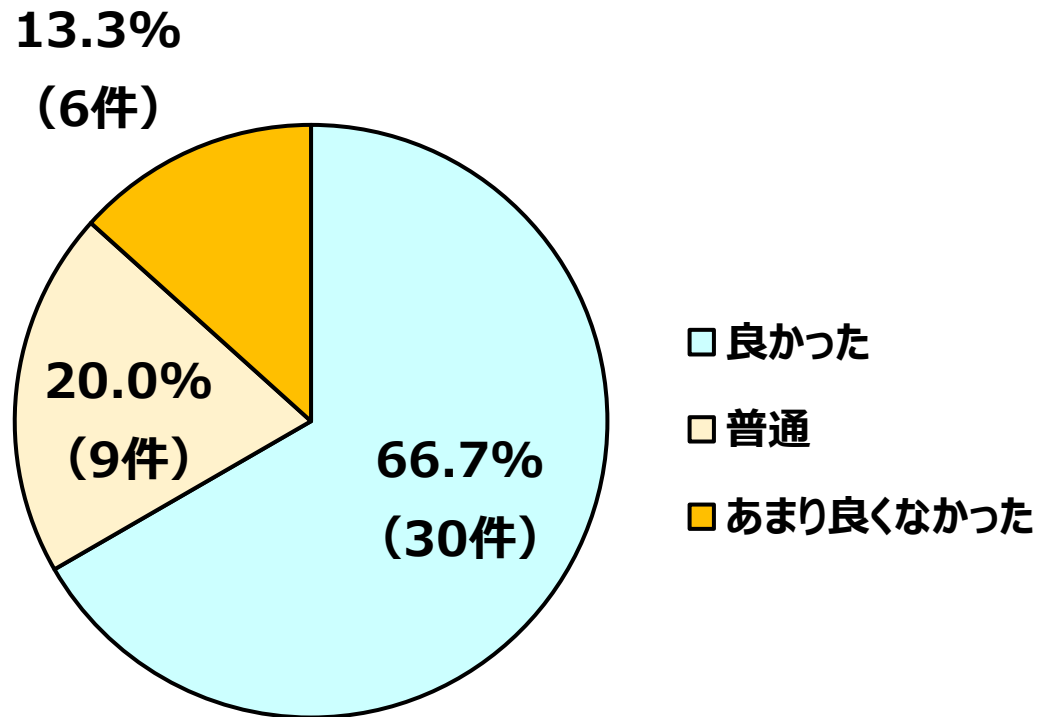


良かった理由（連携会議）

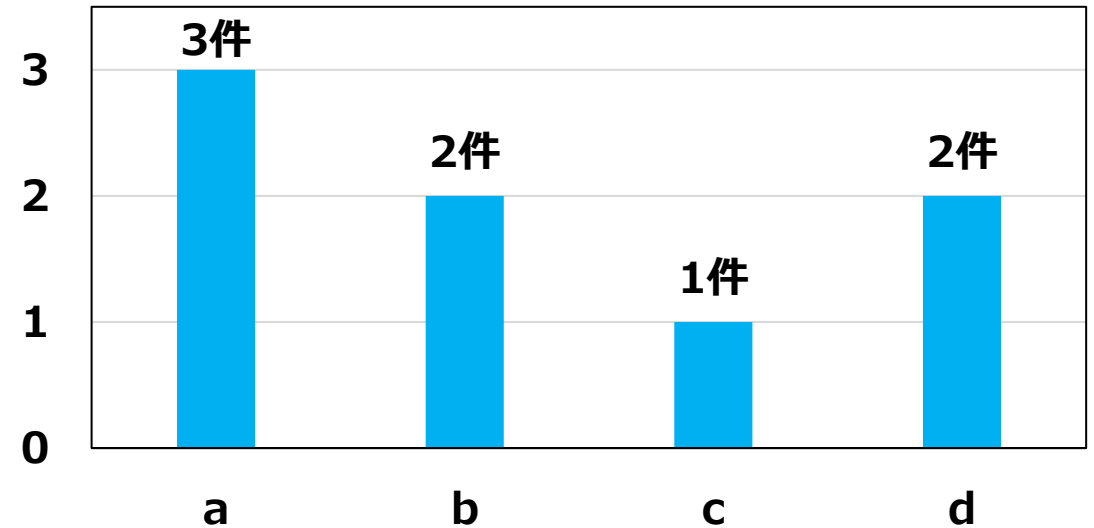


交流会

交流会の感想



あまり良くなかった理由（交流会）



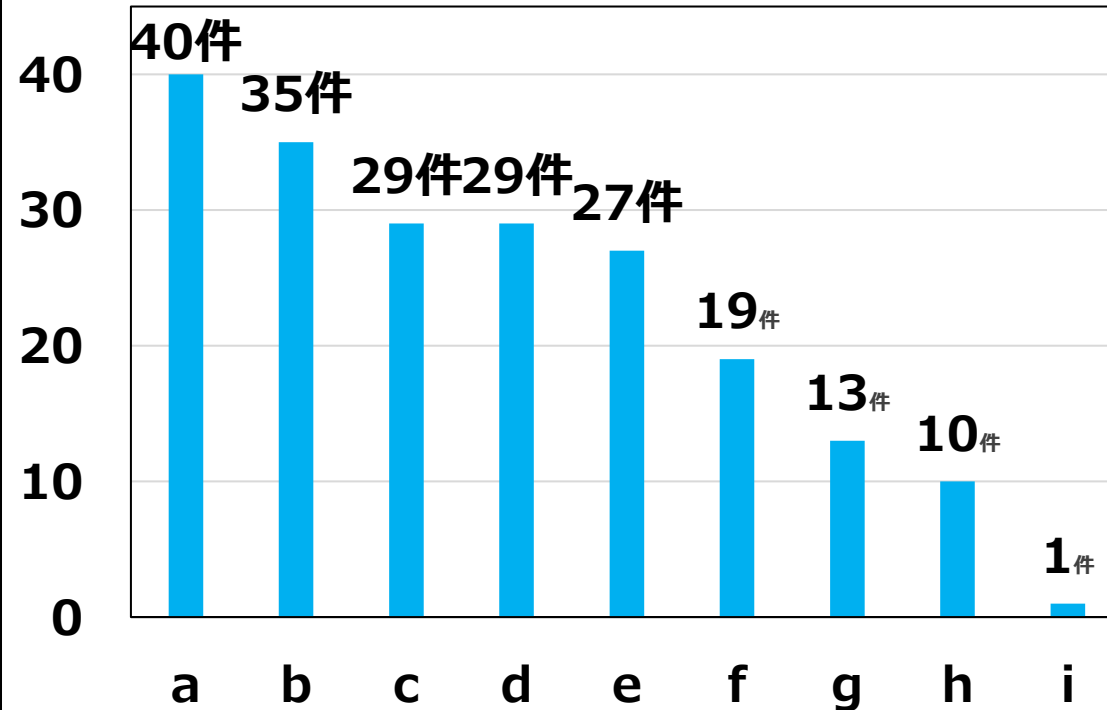
a : 会場 b : 参加者の業種職種 c : 参加者の数が少なかった d : その他（※）

※その他の内容

- ・ 演者との交流の順番が回ってこない
- ・ 知り合いがない場合、交流するのは難しい

※ 交流会参加者（45名）からの回答

今後取り上げてほしいテーマ



a : 改正G C P 省令

b : シングル I R B

c : D C T

d : 治験工コ

e : 大阪府の治験推進に関する取組み

f : 治験 D X

g : 治験啓発

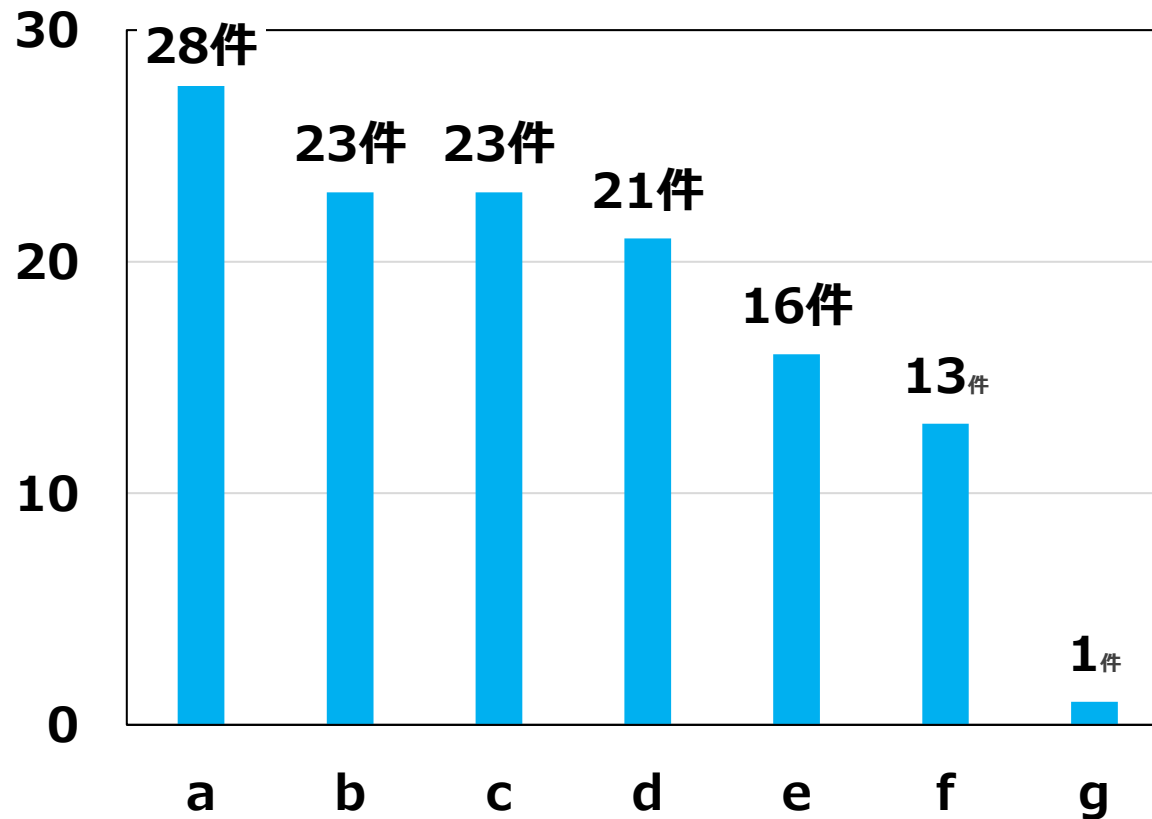
h : 国際共同治験

i : その他 (※)

※その他の内容

・ 症例集積性の成功例

府内の治験実施医療機関やパートナー医療機関等の 連携・ネットワークづくりのために、今後希望する取り組み



a : 電子システムによる治験情報の提供

b : 分散型治験に関する人材育成の研修会

c : 分散型治験に関する相談会

d : 個別の治験案件医療分野毎の説明会・交流会

e : 治験実施医療機関毎の説明会・交流会

f : 国際共同治験に関する説明会・交流会

g : その他（※）

※その他の内容

- ・ 府内の医療機関とパートナー施設の連携方針、その連携による実績等の紹介